

## 舗装技術で担い手確保

岡山県笠岡工高でWS開く 大林道路

大林道路は6月28日、次世代の土木技術者確保を狙い、産業連携を展開する岡山県立笠岡工業高等学校でワークシヨップ(WS)を行った。写真。WSでは、再生コンク



リート骨材を使用した新型低炭素舗装(E-CO N)の施工を測量したり、路盤づくりから最終の仕上げまでの作業を体験してもらったりした。39人が参加した同校生徒に、日常の学校教育では習得できない施工体験をしてもらうことで、インターンシップと同様の効果があるとし、同社の光谷修平エンジニアリング部長は「材料の混合、品質管理を体験してもらうことで環境への取り組みが次

世代の担い手達の「ぎすぎのきっかけにしたい」と期待を寄せている。